

総務文教委員会会議録

平成23年10月3日	10時00分	開 会
	10時34分	閉 会

網 走 市 議 会

午前10時00分 開会

○小田部委員長

おはようございます。3定が終わりまして、できるだけ早い機会にと、こういうふうなことで、過般の委員会で皆さんとお約束したとおり、きょう、定住自立圏、新年度に向けた方向の中で皆さんと委員会を開いて協議をしてみたいと、このように思います。

その後、理事者に御退席をいただいた後に、今月18日に行います行政視察についても、視察を終えた後の委員会の取りまとめを含めた諸問題について、皆さんと協議をしてみたいと思いますので、御承知おきをいただきたいと思います。

それでは、早速、網走市大空町定住自立圏についてを協議してみたいです。

嶋田企画総務部参事から説明があります。お願いします。

○嶋田企画総務部参事

網走市大空町定住自立圏共生ビジョンを作成いたしましたので、御報告いたします。

本日お配りしております資料のビジョンにつきましては、9月26日付で、総務大臣並びに北海道知事あてに提出いたしました。以前お配りしておりました8月1日現在の素案から、文言修正等の軽微なものを除き、変更点が1点ございますので御説明いたします。

資料35ページ、共生ビジョン事業一覧をごらん願います。

35ページ、2番の救急医療体制の維持・確保対策事業の最後にあります、大空町の網走地区救急医療対策事業、平成23年度事業費が214万2,000円、この事業が追加になっております。

この事業は、9月に斜網地区5市町の救急医療体制が確立されたことに伴う大空町の負担金でありまして、大空町議会第3回定例会において補正予算が議決されたことから、今回追加したものであります。

これによりまして、20ページの具体的取組の事業費も変更しております。

このように本年度のビジョンを策定いたしました。が、今後のビジョン見直しに向けて、来年度以降の新たな取り組み等につきまして、委員の皆様のお意見をいただければと存じますので、よろしく願いいたします。

以上でございます。

○小田部委員長

参事から、追加を含めた説明がございました。最終的に、最後に、参事のほうから、平成24年度に向けた事業について、委員の皆さんの前向きな御意見をいただきながら今後に向けて生かしていきたい、こういうふうな趣旨でございますので、どうぞ委員の皆さん、その辺に沿った形で御意見、御質疑をいただければと思います。

○飯田委員

ちょっとお聞きします。圏域の現状と課題から、今、さまざまな事業がなされたと思うのですが、それから言いましても、分野ごとに現状と課題を出して、それがあるのですけれども、具体的に、圏域の将来像という形は、今後、この具体的取り組みで、どの分野に、しっかりと、いつ入ってくるのですか、この第3章の圏域の将来像ってありますよね、それが、17ページにあって、19ページの第4章の定住自立圏形成協定に基づき推進する具体的取組、例えば、スポーツ合宿と文化活動というようなことで、18ページに載っています、これが、この19ページの取組の体系、具体的取組のどこに入ってきて、いつごろから入ってくるのか、その考え方はお持ちですか。

○嶋田企画総務部参事

合宿誘致に関する取り組みについてですが、具体的取組の教育の分野、24ページになりますけれども、8番のイベント開催情報等情報共有事業、その上の7番の社会教育施設相互利用事業、これもあわせてなのですが、この中で、体育施設の相互利用の促進や文化・スポーツに関するイベント情報の共有、こういったことに取り組むということで今の時点では考えておまして、もう一步踏み込んだものについては、今のところは、両市町の間では協議はなされていない状況にあります。

○飯田委員

私、去年の12月議会で質問しています。合宿機能を教育的な面から、分野から、いわゆる全庁的の分野、全体としての、要するに、経済活性化とか、そういうことに関しての取り組み、特に全庁的なものとして発信している、ある部面では教育分野、ある部面では経済分野、さまざまな面があるのですけれども、そういう視点が、私は、この中の企画調整、企画の部分が入っていますけれども、教育の分野だけでそういうのを押さえるので

はなく、観光なり経済活性化、そういうところとの連携をしっかりと私はこの具体的取り組みの中に入れていくということをしないと、間に合わないというか、私はそれほどでかい問題だと思うので、企画総務部長、どうですか、その辺の取り組み、合宿機能を全庁的なものに移していくべき、そして各分野にそこから発信していくと。

○川田企画総務部長

今、委員がおっしゃったとおり、その合宿誘致に関しては、教育という側面だけでなく、地域間交流だとか観光も含めた幅広い取り組みが必要だというふうに認識しています。ですから、今、参事のほうから説明した、教育分野に関しては共同で取り組むという、それは一つの部分で整理はしているのですけれども、そのほかに、例えば32ページですか、地域内外の住民との交流・移住促進というふうな、そういうふうな地域間交流という観点からも当然取り組みべきでありましょうし、広域観光という観点からも取り組む観点はあると思います。ただ、今年度、大空町との話の中で、具体的に、スポーツ合宿で一緒になってやりましょうというのがまだ見出せなかったものですから、このビジョンには書いていません。ですが、それには、今、委員のおっしゃった取り組みについては、来年度以降、大空町とどういうふうな取り組みができるかというのは、今後の協議になるところであります。今の委員の意見については、十分やっていきたいというふうに考えています。

○飯田委員

そういうことからすると、4章の具体的取組、この中に、取組の体系の中に、しっかりと位置づけていかないと、もう既に、これ、行われていることですからね、さまざまな、大空町との定住自立圏の協定結びますと、さまざま、今までやってきたことが具体的なものにもっとなってくるといいますから、この体系の中にしっかりと位置づけていかないと、今言った、分散してなってしまうということがあるので、一つの政策分野、協定分野、協定事項、具体的取り組みの中に、このものをしっかりと、スポーツ合宿はスポーツだけでなく文化活動の合宿なんていう位置づけもしています、それも含めて、特に大空町は、音楽と福祉の町ということで、旧女満別町はやってきた経緯もありますからね、そういうことを含めて、

私は、この具体的取組体系の中に位置づけすべきだと思うのですけれども、平成24年度の中に、その辺の考え方はどうですか。

○嶋田企画総務部参事

今、企画総務部長のほうからも御説明がありましたけれども、今後、合宿誘致に関して、大空町のほうとどのような連携が図れるかということ協定していった中で、協定の項目として取り組めるような事業があるかどうかといったようなところを判断しながら協議していきたいと考えております。

なお、協定項目の追加につきましては、これは議会の議決事項になるものですから、両市町の協議が調って、そうした新たな協定項目として追加するといったようなことになった場合は、また再度、両市町の議会のほうにお諮りして議決いただくというようなことになると考えております。

以上です。

○飯田委員

例えば、まだ政策としては出てきていないのですけれども、これを機会に、網走市と大空町をまたぐさまざまな事業なんていうことも考えられているようですから、市長もね、だから、やはり、その辺は、この取り組みの体系の中にしっかりと入れていかないと、そういう事業が出てきたとき、新たに条例事項、議会の承認事項であるならば、取り組みの体系の中にすっぽり入れるような、今言った、教育だとか観光分野だけでなく、両方しっかりと、すぽっと入れるような体系は、私は持っていたほうがいいと思いますので、早急にその辺をまとめていただきたいと思います。要望しておきます。

○小田部委員長

他に、委員の皆さん、何か御意見ありませんか。

○山田委員

今、飯田委員からお話ありましたし、これはやっぱり、当初から言っていますけれども、端的に言いますと、両市町が、デメリットはないほうがいいわけですから、両方がメリットがあるということをお互いの町づくりの中で連携をとっていくということ、端的に言えばそういう事業だと思います。それで、一つ一つ、本当は、意見交換するのも一つありますが、これが骨格になって、これから懇談会や、いろんな意見交

換をして、平成24年度の予算の中にどういう形であらわれてくるかということをしきりと見きわめて、また、議論が必要であれば議論をしていきたいというふうに思っていますので、まずこれを基本にして、網走市、大空町で市民の意見も聞く機会もきっとあると思いますから、そういうことを網羅する中で、しっかりしたものを、具体的な施策をまた提示してやっていただきたいと、こんなふうに思います。

それで、秋ごろに懇談会があるように前回もちょっと聞いていますから、懇談会の状況なんかもまた、近々の委員会でもあれば、御報告していただくと大変ありがたく思いますし、これからこれが、意見交換、この委員会でも議会の中でもしていく事項だというふうに思っていますので、ひとつよろしくお願ひしたいと思います。

それで、基本的には防災とか医療、それと教育、人材育成ですね、産業で言えば、農業形態を挙げているところもございますし、網走湖という部分でいけば、内水面の漁業では共通の資源でもありますし、あとは福祉だとか、いろんな部分が今網羅されて出てきていますので、ぜひ、飯田委員が言われるように、すべてのところに関連するものをトータルしてやっていくというのも、必要になれば、その項目を挙げて、そこを具体的に関連する部分の組織が動くという方向と、それぞれにかかわるからそれぞれのところでやりながら積み上げていくという方法も一つあると思いますので、その辺も考えていただいて、ぜひ、さらなる充実したものに進めていただくことをお願ひしたいと思います。

以上です。

○小田部委員長

他にありませんか。

委員長として発言させていただきますが、たがいま、飯田委員並びに山田委員から極めて貴重な御意見をいただきました。ここで、ぜひ執行部のほうに、この定住自立圏の事業の、今回10月に懇談会をやると、そういうふうな意見をいただきながら、平成24年度、新年度に向けて、より、この自立圏構想にふさわしい事業がいかにあるべきかと、こういうふうなことを模索し、組み立てていく、こういうふうなことで、あらあらのそういう、これはあくまでも相手のあることですからね、大空町という、ですから、あらあらのスケ

ジュール、日程的なもの、何月ぐらいまでどうやってというふうなものがあれば、確定でなくてよろしいですが、1点御報告をしてほしいなど。そして、みんなで共通した、そういうふうなスケジュール確認の上で、最後に山田委員が言ったように、大事な分野においては、ぜひ委員会に御報告をいただきたいと、こういうふうな御意見、もっともな御意見をいただきましたので、そのためにも、あらあらの対応スケジュールがあれば、この際お示しをしておいていただきたいと思います。

○嶋田企画総務部参事

まだ具体的にはあれなのですけれども、今想定されるのは、今月末ぐらいまでに懇談会を開催いたしまして、懇談会の中で、来年に向けた取り組み等について意見を伺った中で、平成24年度予算に反映するものにつきましては、その予算編成の時期に間に合うような形で、両市町の担当のほうで協議をして予算要求をしていくと、するものはしていくといった流れになろうかと思います。

さらに、実際に新年度予算が組まれた後、来年の4月を想定していますが、また懇談会で、どのような形になったかといったようなことを報告させていただいて、それに対してまたさらに懇談会のほうから意見を伺った中で、また再度、両市町の協議をしていくというふうなことになるかと思っています。

ただ、協定項目を追加するといったようなことにつきましては、まだ両市町の議会の関係もございしますので、今ちょっとスケジュール的なものは申し上げられませんが、それについても、議会のほうに報告をしながら進めていくことになるかと思っています。

以上でございます。

○小田部委員長

今、嶋田参事のほうから、これからのあらあらの進め方に対するスケジュール的なものを皆さんに報告をさせていただきました。こういうふうな認識を持ちながら、正副委員長としても、執行部とはそのような形の中で、より、総務文教委員会委員の皆さんのこの定住自立圏については取り組みがしっかりできるような体制を整えていきたいと、このように思っていますので、そのような認識に立って、今後ともひとつ精励いただきたいと、このように思います。

他に御発言ありませんか。

○井戸委員

網走、そして大空町がともに、農業や漁業のような強みがございますので、そういったものを生かした物づくりに力を入れていただきながら、ある一定の世代ばかりでなくて、特定の人ばかりでなくて、たくさんの方が協力し合って、ともに発展するのだというような意識がやっぱり必要ではないかというふうに感じるので、そういった交流、あらゆる世代の交流を深めることも必要だと思いますし、そういった意識をお互い持つような取り組みというか、働きかけをしていただきたいというふうに思います。

以上です。

○小田部委員長

これ、井戸委員の御意見は、要望ととってもいいのですけれども、これに対して、タイミングのこともあるでしょうしね、推移の、進捗の過程の中では、そういったことに対しては、参事、どうですか、必要があれば。

○嶋田企画総務部参事

ただいまの意見を伺った中で、また、どういった取り組みができるかといったようなことを検討していきたいと思います。

○小田部委員長

井戸委員、よろしいですね、今の件、推移の中で、大空町と網走市が、できる限り一体となって、それらも、地域の人たちの意識がそこにあることが何よりも肝要な要点になるというふうに思います。

他に御発言ございませんか。

(「なし」の声あり)

○小田部委員長

なければ、本日、定住自立圏についてはこの程度でよろしいですか。

(「異議なし」の声あり)

○小田部委員長

理事者のほう、何かありましたら、この際。

(「ありません」の声あり)

○小田部委員長

なければ、本当に御苦労さまです、ひとつよろしく願いいたします。ぜひ、とてもこれからの大事な問題ですから、飯田委員、山田委員の自立圏に対する御意見、私も皆さんの意見を聞きながら勉強していますが、そういうふうな認識で執行

部と対応してまいりたいと。特に、井戸委員が言った、観光、水産、農業、それで意外と、農業が一部、まだ網走のほうは、明解な、この定住圏兼のほうに組み入れていないのです、具体的には。ところが、大空町のほうは、そういったものを強力に求めている、そうすると、それが、大空、網走の協議になって、網走が入れるとなったら、網走市議会の承認決定をして組み込んでいく、こういうふうな作業になるということも理事者と打ち合わせをしておりますが、そんなこんなを含めて、私はスケジュールも含めて、あえて皆さんと一緒に、この問題には前向きに取り組んでいこうと、このように考えておりますので、ひとつ、きょうのように、どんどん御意見を出していただければありがたいと、このように思います。

冒頭言ったとおり、次に、行政視察について。

委員会では、これ、1期生もおられますから、もう一度だけ、私、委員長のほうから、きちんとこれまでのやり方を御報告しますが、視察を終えた後の総務文教委員会の取りまとめについてでありますけれども、これまでの例では、各委員の視察をしたときの意見並びにその感想、こういったことを、紙、レポートをもって提出していただくか、あるいは、この場のように、委員会の中で、口頭発言で、言葉で、それらの意見なり感想を述べていただいて、委員会として取りまとめをしていくと、こういったことが、これまでの方法なのです。ですから、今回の視察については、レポートを出してはだめですよ、口頭にしましたから、なんていう次元ではありませんが、皆さんとどういうふうな取りまとめの仕方が、これからの時代、ふさわしいか、その辺を皆さんに御意見を聞いて取りまとめに、正副委員長で、事務局を含めて当たっていききたい、このように思いますので、これまた皆さんの率直な御意見をいただきたいと思います。

飯田委員どうですか、これについては、我々の経験から、場合によっては簡略させたりね、そうやってきた私自身のそういう経過、経験もありますが、最終的に、この時代、将来に向かっていく中で、こういったことを含めて、要するに、箇条書きでもいいからメモにして、それぞれの委員が出していただく、あるいは、それは口頭で話してもらったことを、当然、委員会のメモにもなりますから、その辺について、1期生3人もおられる

から、飯田委員、山田委員の意向で御指導をいただきながら取りまとめていきたいと、このように思っています。

飯田委員、いかがですか。

○飯田委員

全国都市問題会議もしっかりとレポートも出していますし、今回も全国都市問題会議、新人2人行きます。恐らく、前回、前々回を見ると思うのですけれども、報告書がこういう書き方すればいいかなというふうに思いますので、基本的にはレポートを出して、前の、口頭でその辺も含めてやったのですけれども、基本線だけはやっぱりつくっておいたほうがいいのではないですか。

○小田部委員長

1期生の3人の方、大体、お二人の意見で理解はされたと思うのだけれども、今、飯田委員、山田委員が言っていることは、何も演説の原稿を書けというのではなくて、視察した、今回も3カ所視察をする予定です、そうすると、ここではこういうところにとっても感心をした、網走でどういうふうに応用できるのか否か、そういったことも含めながら、これは箇条書きという性格の意味でもいいのですけれども、やっぱり紙で、それぞれの、古都委員、金兵委員、井戸委員ということで、紙で出していただきたい。それから、委員会ですから、フリーに口頭でもそれをフォローアップすると、こういった方法も、一番どうなのかなという意見だと思います。ですから、その辺いかがですか、先輩たちが、やはりこれから将来に向かって、市民に対して、今、議会が大きく、市民にどうこたえていくかというふうな作業をしている真っ最中でもあるから、総務文教委員会として、委員の皆さんとその辺も含んだ形でどうするか決めていきたいと、こう思います。

○飯田委員

昼から議会活性化特別委員会があるのですけれども、やはり市民の方から資料要求、情報公開とかそういうふうなところにたえ得るような報告書をつくっていかないということが私は基本だと思いますので、それも含めたことで。

○小田部委員長

古都委員、どうですか。

○古都委員

紙レポートを提出した上で、その後、集まった上でまたその議論を行って、意見を集約した上で

提出ということであれば、そのほうが、7人もいる、委員長を含め、委員の皆さんの意見がすべて集まった上で、厚みのある意見として提出できると思うので、その中でそうしたら、やはり市民にも理解が得られるような形の意見書として提出できると思うので、私はそれで構わないと思います。

○小田部委員長

金兵委員。

○金平委員

私もそれで構いません。

○小田部委員長

井戸委員。

○井戸委員

よろしいです。

○小田部委員長

それでは、今回の行政視察、3カ所の視察地報告については、紙をもって、箇条書きでも結構ですが、レポートを各委員の皆さんに出していただくと、そして、あえて、仰々しく言いませんが、委員会で懇談的にその感想を述べながら、委員会正副委員長としても、その各委員の皆さんのレポートを添付した中で取りまとめの意見も付すると、つけると、こういうことで今回の行政視察の、議長に出すのですが、この報告書をそのような取り扱いにしていくと、このように決定をさせていただきます。ありがとうございました。

次に、行政視察について事務局から説明してください、今回の行政視察について。

○瀬口主事

それでは、私のほうから説明させていただきますが、日程表については、前回の委員会でお知らせした内容と相違はありません。現在、例えば、まだお店とか、食事とか、予約できていないところがありますので、そこら辺が決定しましたら、詳細な日程表を来週でも御自宅のほうに送付させていただいて皆さんにお知らせしたいと思います。

それと、集合については女満別空港に直接集合ということで、この時間等についても、後日送付します日程表のほうで通知したいと思います。

そのほか、旅費のほうについては、事務局のほうで支出事務を行っていきまして、事務局のほうですべて、旅行会社のほうに代理で支払って精算する形でとらせていただきたいと思います。

以上であります。

○小田部委員長

今の説明でよろしいですね。そのように行政視察の対応をしてみたいです。

それで、きょうの議件はほとんど終わったのですが、その他で、皆さん御案内の、11月に実施を検討しております網走市博物館協議会との当委員会の懇談会について、前回委員会の内容から進展があれば、特に御苦勞、御協力、対応いただいた飯田委員から、その説明をお願いをしたいと思います。

○飯田委員

前回話したもののから、今、9月議会が終わってから、直接、社会教育部長と博物館長とお話しして、行政視察に出発する前までに、招集範囲かどうか、懇談の内容、特に前回、モヨロのミュージアムですか、ガイダンス施設の上屋が大体でき上がってくるのを見計らって、そこを視察して、博物館で博物館事業のレクチャーを受けて、その後懇談するという方向性が出されたのですけれども、その具体的な日程と具体的内容は、18日の行政視察の前までに大方決めるということで今進めようとしていますので、今週中に博物館側と協議する予定になっています。一応そのような進展状況です。

○小田部委員長

ただいま飯田委員が、この懇談会の企画について、積極対応、協力をしてくれている、その報告です。今の飯田委員の報告のように進めたいと、皆さんと合意していますので、今の説明でよろしいですね。

（「異議なし」の声あり）

○小田部委員長

それでは、飯田委員、そのように取り進めて協力をさせていただきたいと、このように思います。

以上で、きょうの委員会の協議、相談事項は全部終わったのですが、この際何かありませんか。

（「なし」の声あり）

○小田部委員長

なければ閉じます。

以上をもって、総務文教委員会を終了いたします。

御苦勞さまでした。

午前10時34分 閉会